

会計監査人交代手続き及び交代 における留意点と影響事例分析

日本CFO協会セミナー

清和監査法人
パートナー公認会計士
江黒 崇史

2010年10月7日



Seiwa Audit Corporation

目次

I.会計監査人交代の事例数推移	3	XI.中堅から大手への異動例	17
II.会計監査人交代を検討する要因	4	XII.TOPIX及び日経平均と異動による株価 かい離率	22
III.会計監査人の規模別メリット・デメリット	5	XIII.会計監査人の交代と監査報酬の変動状況	23
IV.平成19年1月から12月の異動状況	6	XIV.会計監査人交代のデメリット...手続きに ついて	24
V.平成20年1月から12月までの異動状況	7	XV.会計監査人交代の留意点	26
VI.平成21年1月から12月までの異動状況	8	XVI.会計監査人交代の概略	27
VII.平成22年1月から8月までの異動状況	9	XVII.期中交代について	28
VIII.会計監査人交代のデメリット？ ・・・株価との関係	10	XVIII.総括	29
IX.大手から中堅に変更した事例	11		
X.中堅から大手に交代した事例分析	16		

I. 会計監査人交代の事例数推移

期間	平成19年1月~12月	平成20年1月~12月	平成21年1月~12月	平成22年1月~8月
会社数	約233社	約204社	約272社	約128社

※平成19年はT&A master, 平成20年以降は開示ネットシステムより清和監査法人にて集計
なお、平成21年1月から8月までの異動は229社のため、平成22年は減少傾向にある

主たる交代理由

1. 開示上は任期満了が5割以上（実情は様々）
2. 会社側都合・・・監査報酬の高騰や連結監査一元化等
3. 監査人側都合・・・監査法人解散や資源不足等

II. 会計監査人交代を検討する要因

1. 監査の形式化

欧米式の監査ツールを導入した結果、
監査が形式化している



ツールに時間を取られクライアント
コミュニケーションが不足

2. スタッフの質の低下

近年のスタッフ大量採用により現場
作業の質が低下



現場教育が追いついていない

3. 監査報酬の高騰

上記ツールの導入、人件費の高騰、
会計制度変遷による監査時間の増加



監査報酬が経営の負担となっている

III. 会計監査人の規模別メリット・デメリット

	メリット	デメリット
大手	<ul style="list-style-type: none">・ブランド力がある・巨大企業の監査にも対応できる・国際業務への対応もできる	<ul style="list-style-type: none">・監査報酬が高い・対応が形式的な場合が多い・若手スタッフの構成比が高い
中堅	<ul style="list-style-type: none">・監査報酬が割安・迅速かつ適切、丁寧な対応・中堅でも大手出身者による高度な品質	<ul style="list-style-type: none">・監査の質が低い場合もある・巨大企業への対応が困難な場合あり・国際業務への対応が困難な場合あり

※大手とは有限責任あずさ監査法人、あらた監査法人、新日本有限責任監査法人、有限責任監査法人トーマツを指しております。
中堅とはそれ以外の監査法人を指しております。

- 上記のように大手と中堅はそれぞれトレードオフに近い関係
- 重要なことは自社にあった適正な監査を受けられるか
- 近年、会社IR上も「規模にあった監査法人を選任」が増加

IV.平成19年1月から12月の異動状況

大手から 大手への異動	大手から 中堅への異動	中堅から 大手への異動	中堅から 中堅への異動	その他	異動社数 合計
40	83	12	98	0	233

- ✓ 大手から中堅へ、中堅から中堅への異動が多い
- ✓ 中堅から中堅は解散や合併によるものが多い

異動理由	社数	構成比(%)
任期満了	143	50%
親(子)会社の監査人へ交代	16	5%
共同から単独監査へ	3	7%
監査報酬で合意せず	2	4%
見解の相違	4	3%
結論等の不表明	0	0%
監査人側の理由	34	24%
その他	31	7%
合計	233	100%

- ✓ 任期満了が圧倒的に多い
- ✓ 連結決算の観点より監査人を一致するケースも多い
- ✓ 監査人側の理由は監査法人の解散や合併によるもの

V. 平成20年1月から12月までの異動状況

大手から 大手への異動	大手から 中堅への異動	中堅から 大手への異動	中堅から 中堅への異動	その他	異動社数 合計
33	80	27	64	0	204

✓ 大手から中堅への異動が多い

異動理由	社数	構成比(%)
任期満了	102	52%
親(子)会社の監査人へ交代	10	7%
共同から単独監査へ	14	2%
監査報酬で合意せず	8	6%
見解の相違	7	3%
結論等の不表明	0	2%
監査人側の理由	48	8%
その他	15	20%
合計	204	100%

- ✓ 任期満了が圧倒的に多い
- ✓ 連結決算の観点より監査人を一致するケースも多い
- ✓ 監査人側の理由の主たる内容は監査法人の解散や公認会計士の行政上の処分による交代等である

VI.平成21年1月から12月までの異動状況

大手から 大手への異動	大手から 中堅への異動	中堅から 大手への異動	中堅から 中堅への異動	その他	異動社数 合計
42	104	16	106	4	272

- ✓大手から中堅、中堅から中堅への異動が多い
- ✓その他は後任未定のもの

※その他は後任が決まらず

異動理由	社数	構成比(%)
任期満了	161	59%
親(子)会社の監査人へ交代	21	8%
共同から単独監査へ	5	2%
監査報酬で合意せず	18	7%
見解の相違	11	4%
結論等の不表明	6	2%
監査人側の理由	25	9%
その他	25	9%
合計	272	100%

- ✓任期満了が圧倒的に多い
- ✓連結決算の観点より監査人を一致するケースも多い
- ✓監査人側の理由の主たる内容は中堅監査法人解散によるもの等である

VII. 平成22年1月から8月までの異動状況

大手から 大手への異動	大手から 中堅への異動	中堅から 大手への異動	中堅から 中堅への異動	その他	異動社数 合計
28	34	18	45	3	128

- ✓ 大手から中堅、中堅から中堅への異動が多い
- ✓ その他は後任未定のもの

異動理由	社数	構成比(%)
任期満了	93	73%
親(子)会社の監査人へ交代	9	7%
共同から単独監査へ	4	3%
監査報酬で合意せず	8	6%
見解の相違	4	3%
結論等の不表明	0	0%
監査人側の理由	2	2%
その他	8	6%
合計	128	100%

- ✓ 任期満了が圧倒的に多い
- ✓ 連結決算の観点より監査人を一致するケースも多い
- ✓ 監査人側の理由は監査法人の解散や資源不足等によるもの

VIII.会計監査人交代のデメリット？…株価との関係

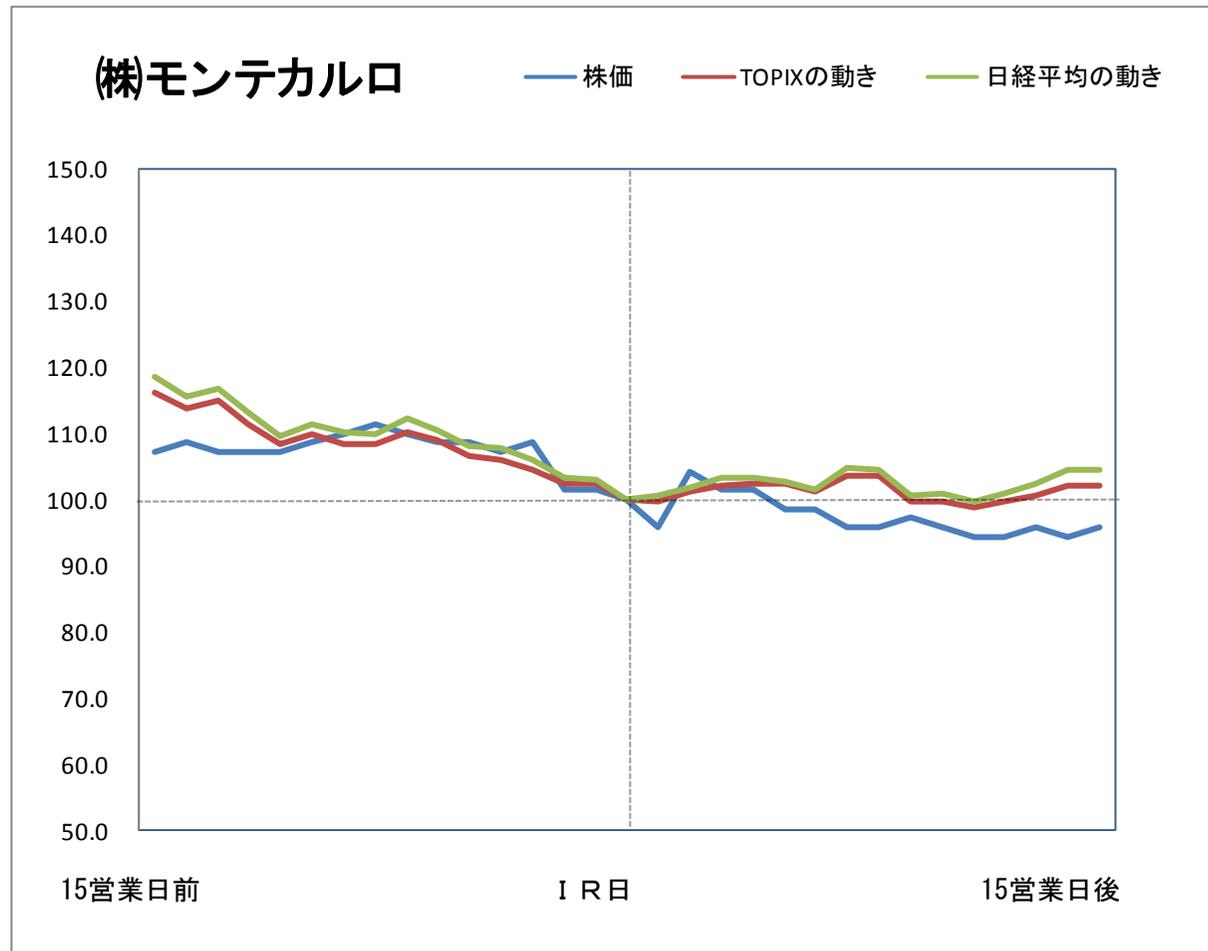
①大手から中堅への監査人交代による株価への影響は？

株価が日経平均及び TOPIXと比較して	上がった会社	2社
	下がった会社	4社
	平行している会社	14社

※大手監査法人から中堅への移動（平成21年8月から平成22年8月から任意20社抽出）

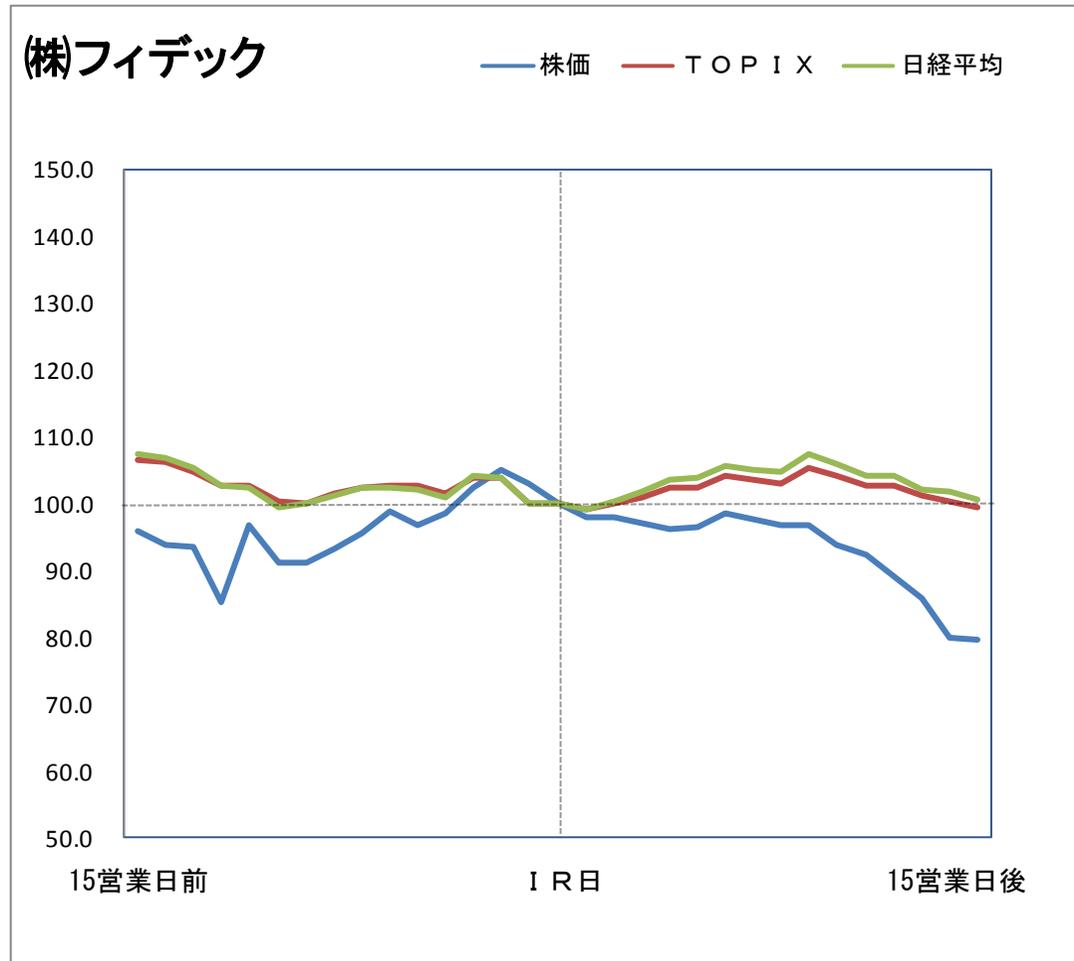
➤ 監査法人変更と株価変動は相関関係があるとは言えない

IX. 大手から中堅に変更した事例①



前任監査人:有限責任監査法人トーマツ
後任監査人:ペガサス大和監査法人
変更のIR日:平成22年5月25日

IX. 大手から中堅に変更した事例②

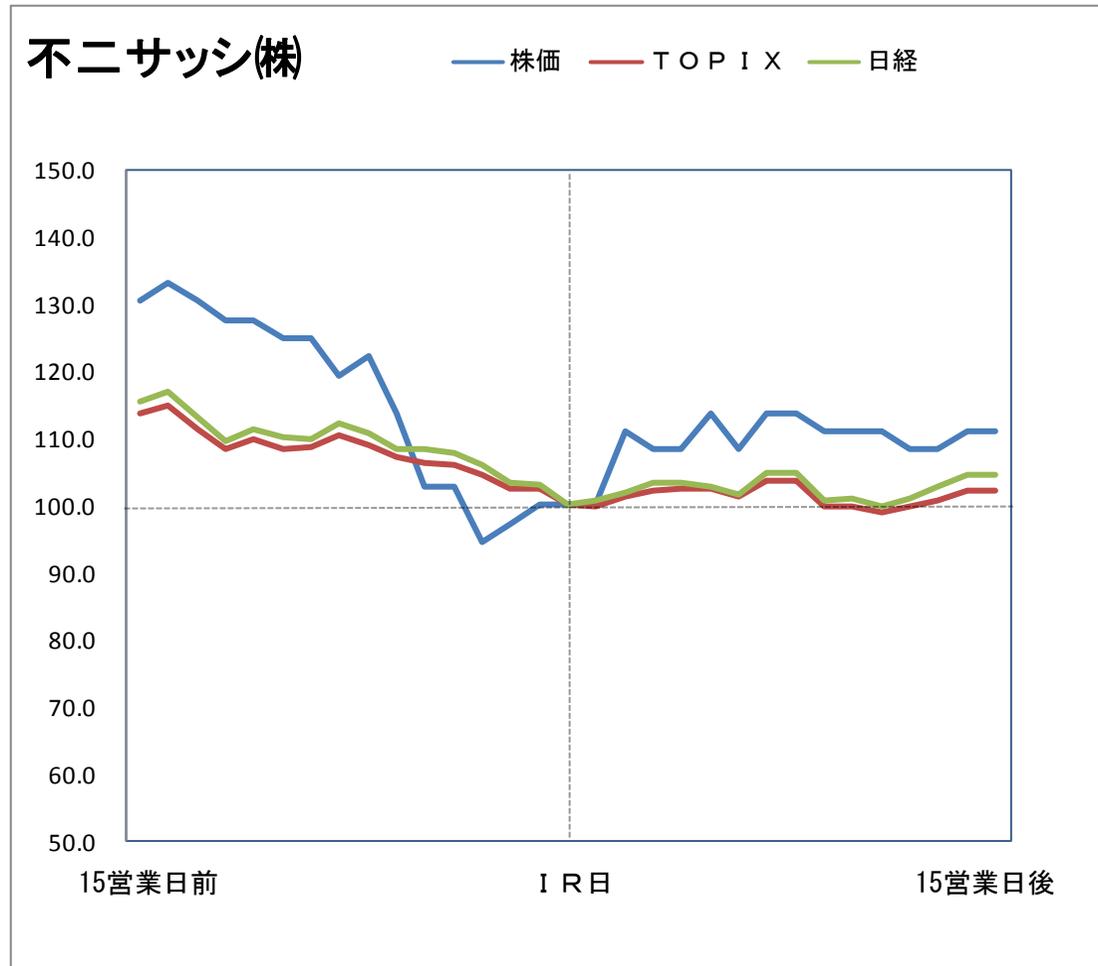


前任監査人:有限責任監査法人トーマツ

後任監査人:ピーエー東京監査法人

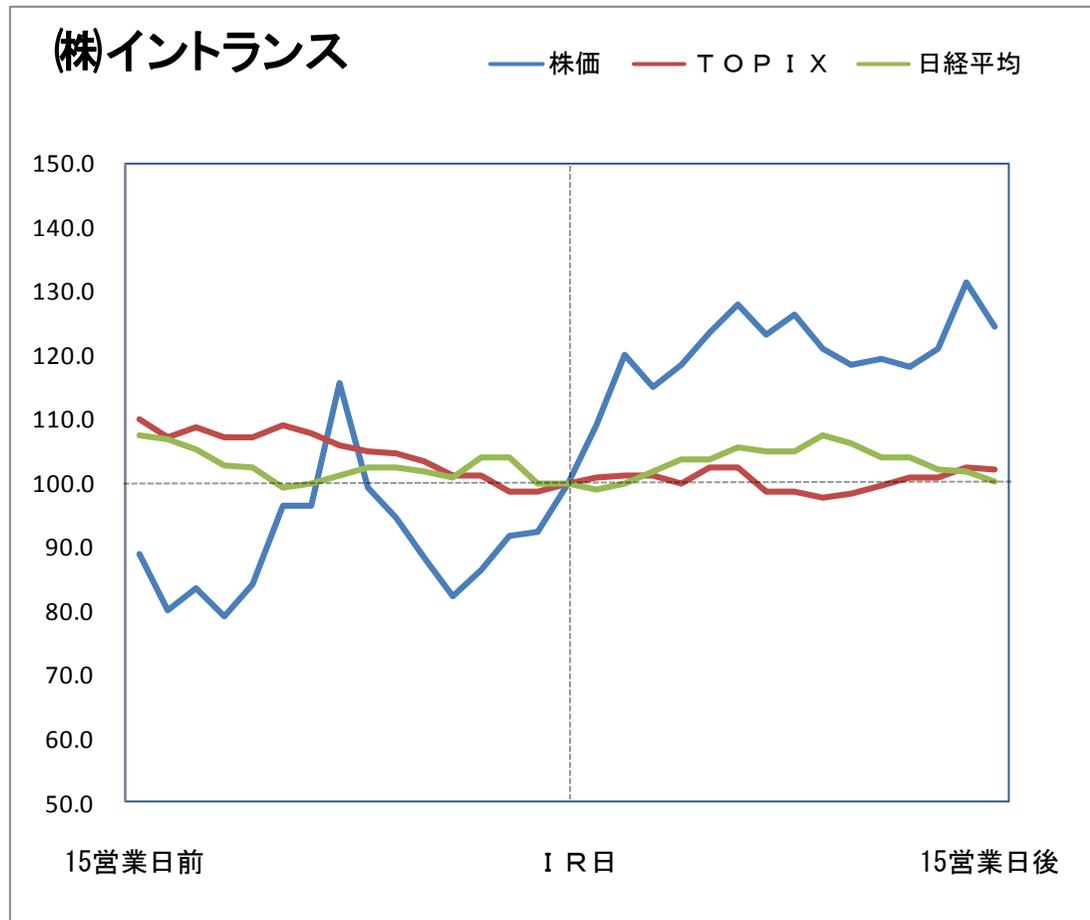
変更のIR日:平成22年6月8日

IX. 大手から中堅に変更した事例③



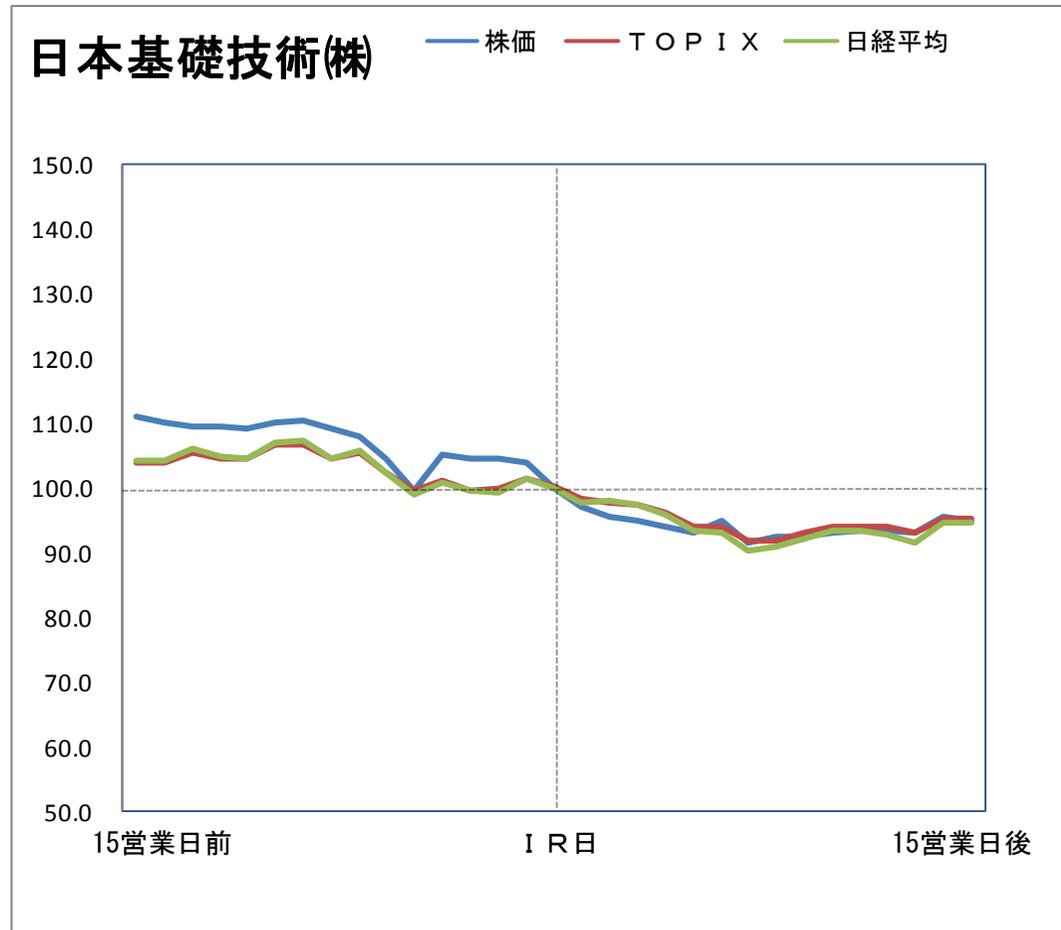
前任監査人:新日本有限責任監査法人
後任監査人:東陽監査法人
変更のIR日:平成22年5月25日

IX. 大手から中堅に変更した事例④



前任監査人:新日本有限責任監査法人
後任監査人:三優監査法人
変更のIR日:平成22年5月27日

IX. 大手から中堅に変更した事例⑤



前任監査人:新日本有限責任監査法人
後任監査人:優成監査法人
変更のIR日:平成22年5月14日

X. 中堅から大手に交代した事例分析

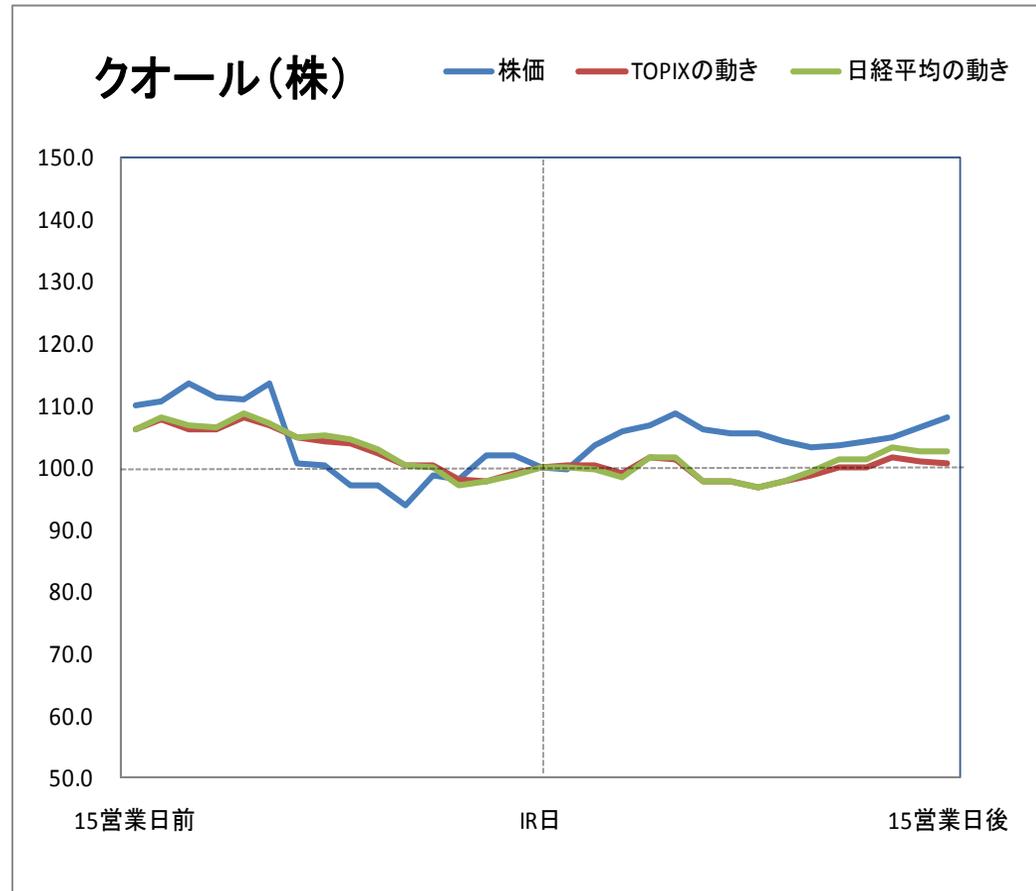
➡ では、中堅から大手への監査人交代による株価への影響は？

株価が日経及び TOPIXと比較して	上がった会社	3社
	下がった会社	3社
	平行している会社	8社

※中堅監査法人から大手への移動（平成21年8月から平成22年8月から任意14社抽出）

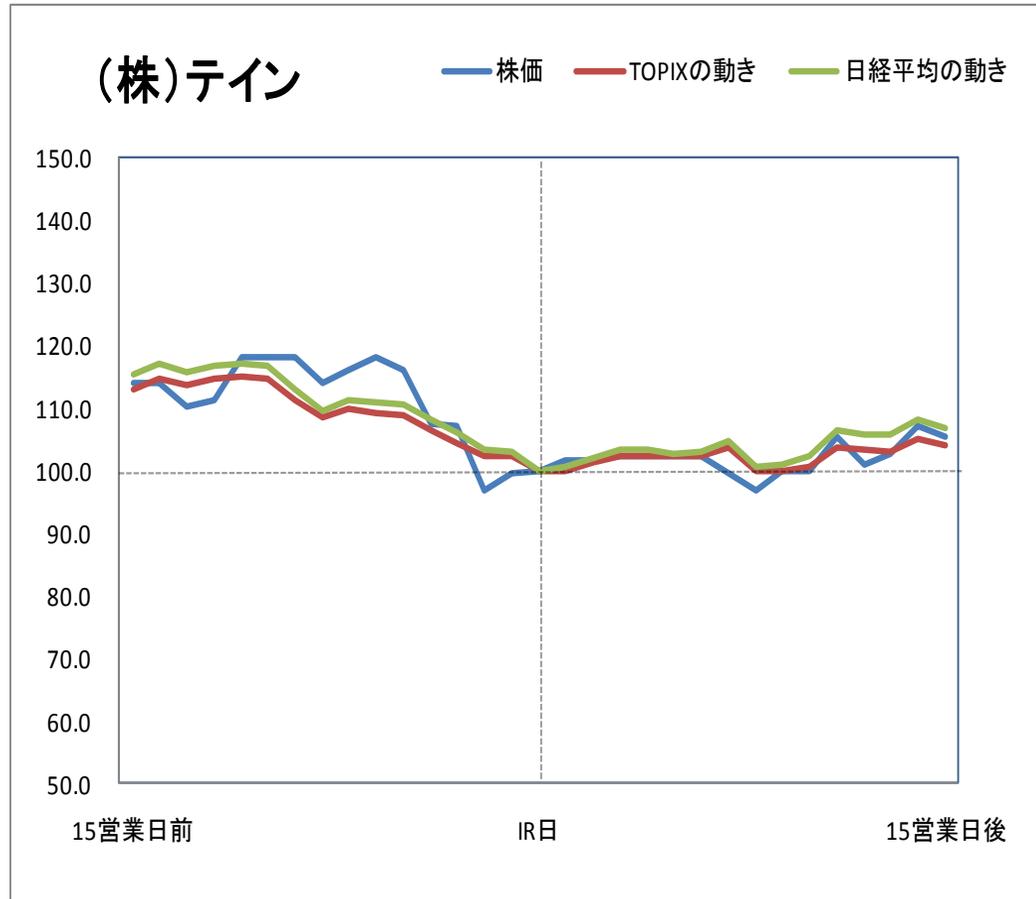
➤ 上記より、監査法人の異動は株価に連動するとは言えない！

XI. 中堅から大手への異動例①



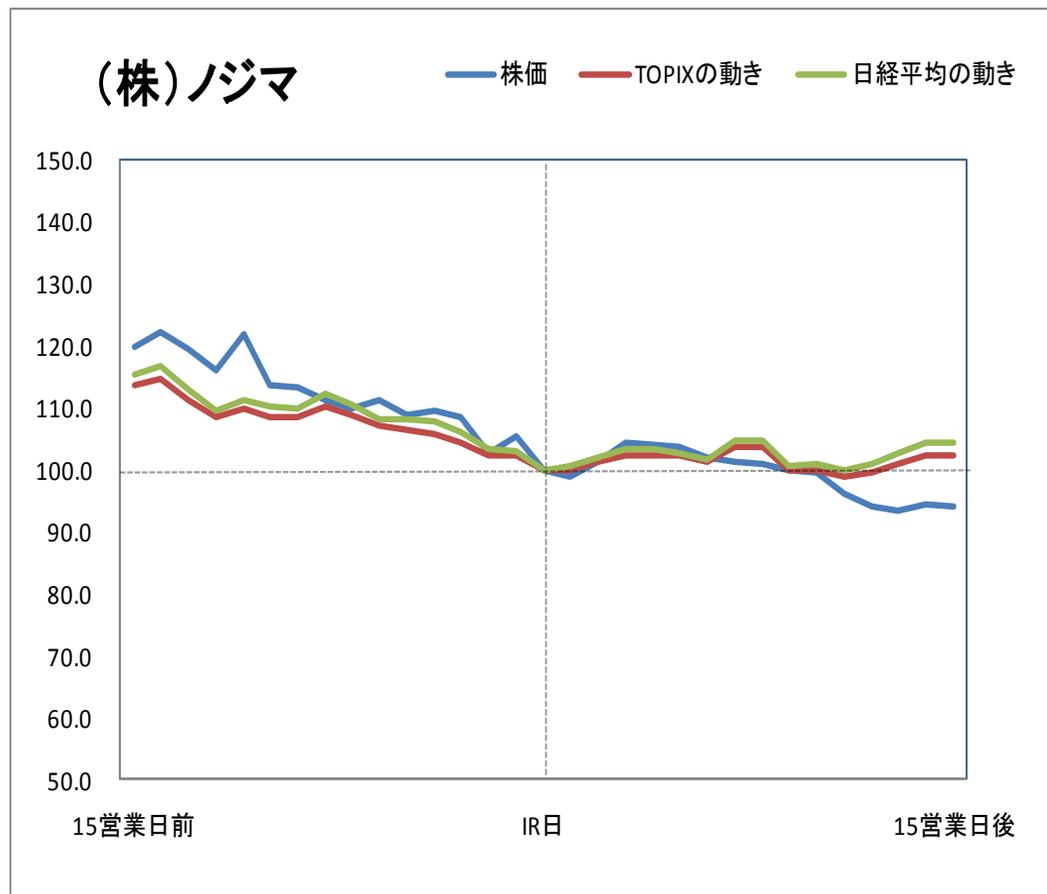
前任監査人:ビーエー東京監査法人
後任監査人:有限責任あずさ監査法人
変更のIR日:平成22年5月28日

XI. 中堅から大手への異動例②



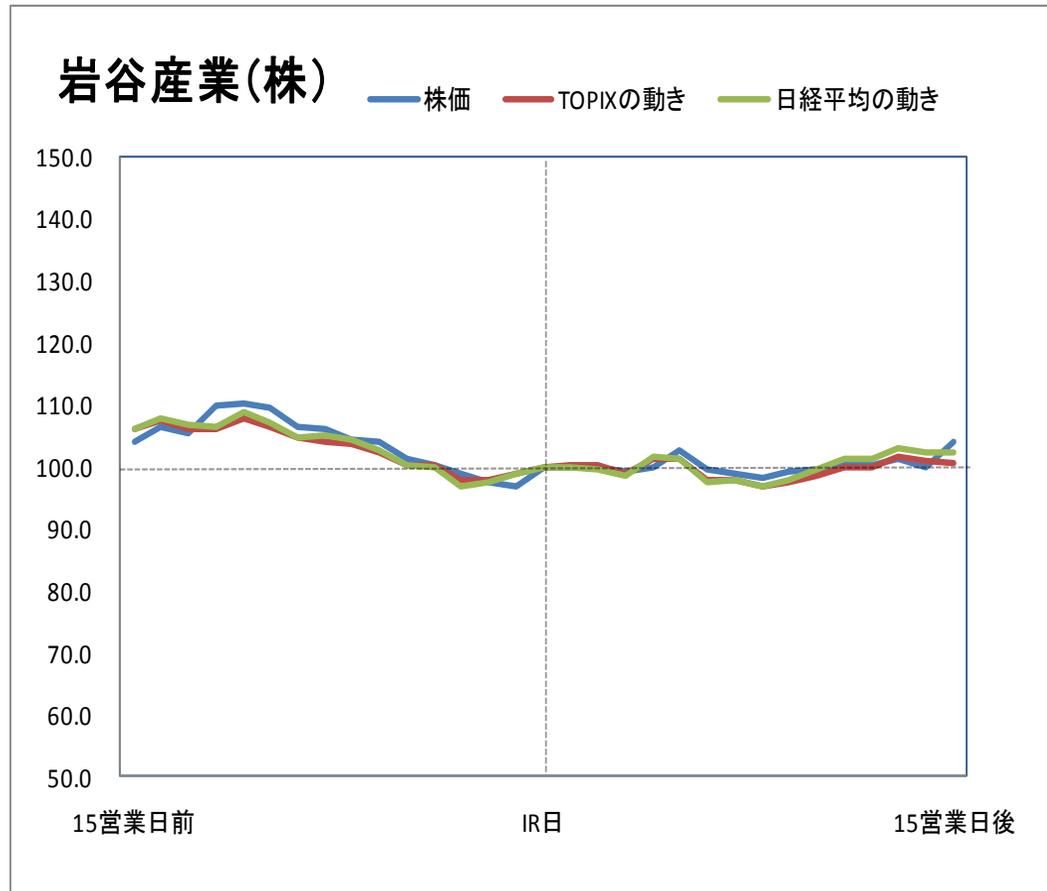
前任監査人:太陽ASG有限責任監査法人
後任監査人:新日本有限責任監査法人
変更のIR日:平成22年5月25日

XI. 中堅から大手への異動例③



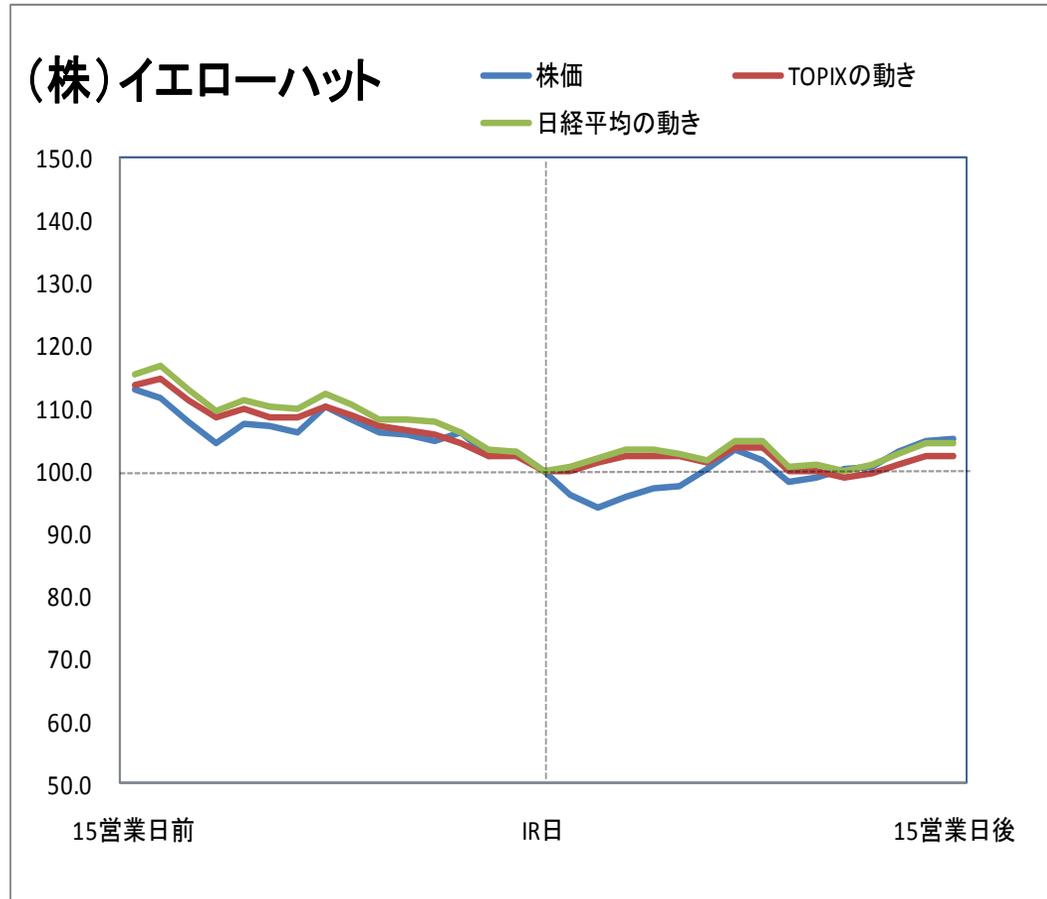
前任監査人:ビーエー東京監査法人
後任監査人:有限責任監査法人トーマツ
変更のIR日:平成22年5月25日

XI. 中堅から大手への異動例④



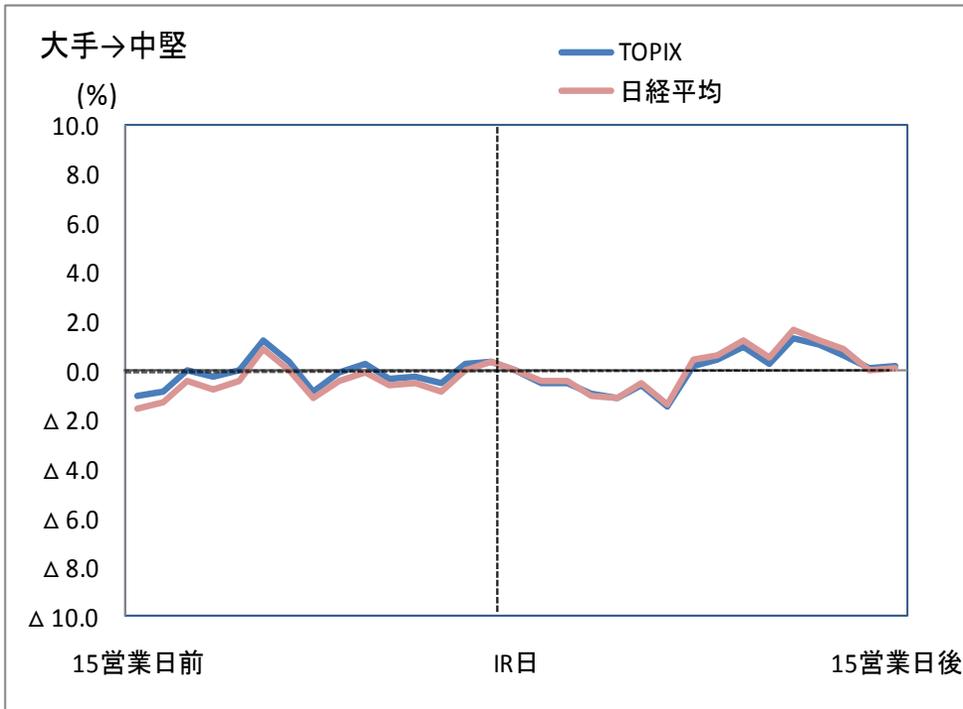
前任監査人:協立監査法人
後任監査人:有限責任あずさ監査法人
変更のIR日:平成22年5月28日

XI. 中堅から大手への異動例⑤



前任監査人：保森会計事務所
後任監査人：あらた監査法人
変更のIR日：平成22年5月25日

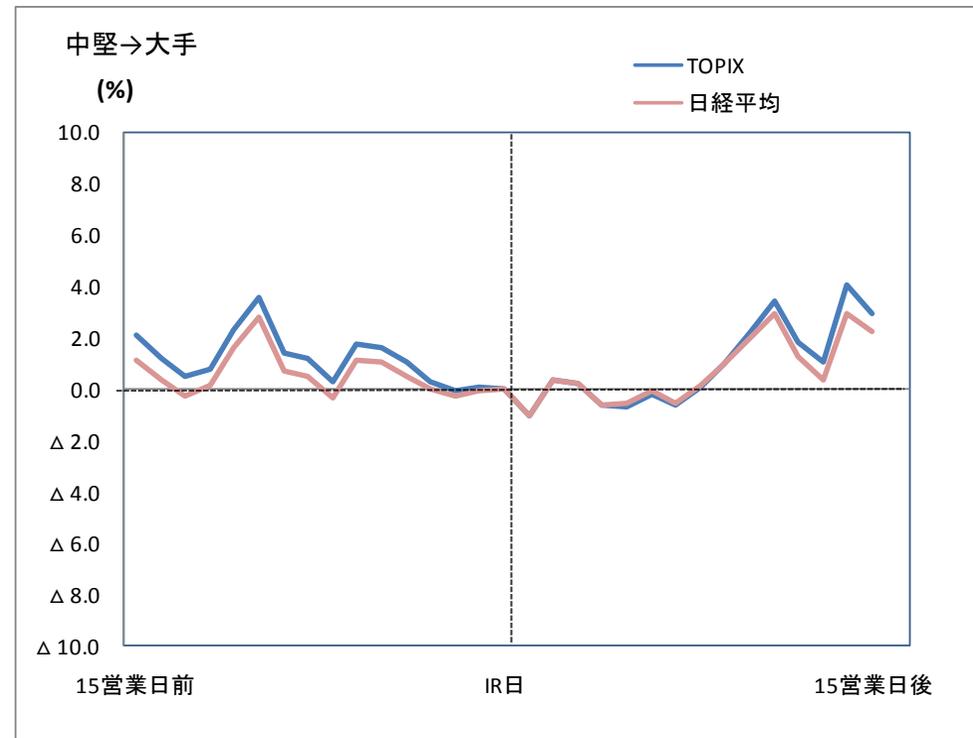
XII. TOPIX及び日経平均と異動による株価かい離率



【グラフ作成方法】

- ① TOPIX及び日経平均株価を基準値とし、サンプル抽出した企業の株価との乖離率を算定
- ② ①の平均値を算定
→グラフの振れ幅が大きいほど、基準値と乖離している、すなわち、より影響を受けていることとなる

※ なおサンプルは平成22年1月から8月までに異動が生じた会社



どちらのパターンでも、乖離率は1~4%の範囲で推移しており、監査法人の交代が株価に与える影響はほとんどないと考えられる

XIII.会計監査人の交代と監査報酬の変動状況

▶ 監査法人の異動の規模と報酬の関係は？

異動状況	監査報酬の変動平均率	サンプル数	主たる異動理由
大手から中堅へ	△27%	54社	9割以上が任期満了 一部監査報酬低減化のための異動
大手から大手へ	△18%	18社	任期満了及び監査一元化、共同監査から 単独監査人による監査の効率化等
中堅から大手へ	+60%	6社	任期満了及び監査一元化等
中堅から中堅へ	0%	40社	任期満了等

※平成21年4月から6月に異動を表明した会社のうち、平成22年6月から8月までに有価証券報告書を提出し、監査報酬変動が集計できた会社

- 大手から中堅へは平均でも27%低減、中には50%以上下落している例も
- 逆に、中堅から大手では平均で60%増加、中には倍増している例も
- 中堅から中堅は減少傾向が多いが、中には巨額に増加している例もある

XIV. 会計監査人交代のデメリット…手続きについて

②実務上の手続きが煩雑なのでは？

1. 法定手続き

- 必要な書類はすべて監査人側で用意
- 会社側は3枚の書類を署名、捺印するのみでOK！

No	内容
1	後任監査人予定者に関する通知並びに守秘義務解除の通知
2	守秘義務解除承諾
3	会計監査人就任伺い

XIV. 会計監査人交代のデメリット…手続き (Cont.)

2. 現在の監査人への相談

- 進行期の監査意見表明を確実にするためにも早めに相談
- 過去の経緯については処理を確認

3. 後任監査人との協議

- 会計処理の方針について確認
- 監査日程のイメージや報酬についても確認

XV. 会計監査人交代の留意点

1. 前任監査人に対して

- 進行期の監査意見について確認
- 過去の会計処理について確認

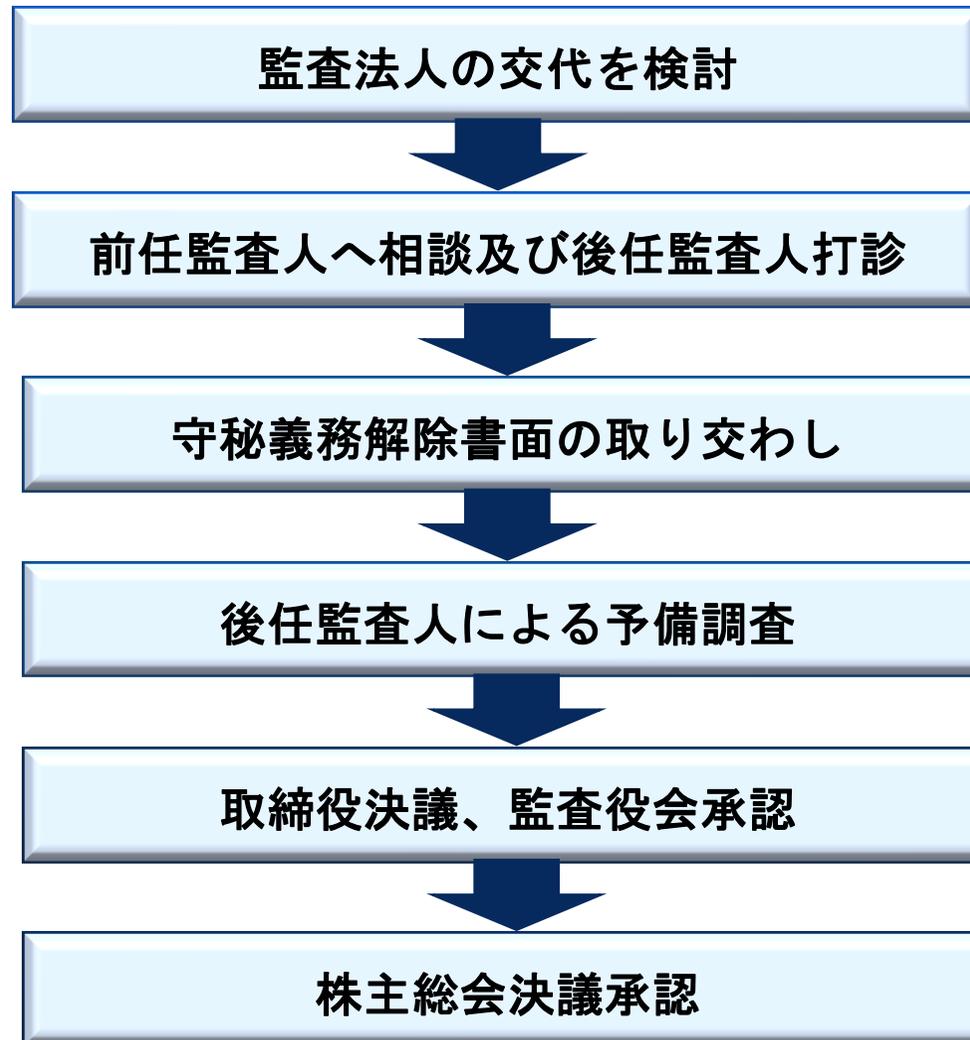
2. 後任監査人に対して

- 予備調査日程の確認
- 監査日程、方針、報酬について確認

3. IRについて

- 交代の理由について確認
- IR日について確認

XVI. 会計監査人交代の概略



XVII. 期中交代について

▶ 期中交代は是か非か？

1. 客観的には望ましくない

- ▶ 監査意見不表明や倒産の実例が多い

2. 現在の監査人に対して

- ▶ 監査報酬について既払分・未払分が問題

3. 後任監査人について

- ▶ 期中交代は監査人側もリスクを重大にみて契約に慎重

※なお、諸手続きは期末交代と同様

XVIII. 総括

▶ 監査人交代は

1. 手続きは煩雑ではない

- ▶ 監査法人が手続きを手配

2. 株価への影響は極めて少ない

- ▶ 株価が乱高下することは実績から極めて少ない

3. 監査対応、費用面から検討価値あり

- ▶ 会計処理対応、開示対応、費用面から検討価値あり

終わりに・・・清和監査法人概要

- 法人名 清和監査法人
- 設立 2004年3月
- 出資金 32,000千円
- 所在地 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞ヶ関コモンゲート西館32階
- 関与先 金融商品取引法・会社法監査31社
会社法 17社
- 従業員数 64名
- 海外提携先 RSM International
- 担当連絡先 パートナー公認会計士 江黒崇史
- 電話 080-3355-5164(直接ご連絡ください)
- メール eguro@seiwa-audit.or.jp